【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年2月3日(2011.2.3)

【公開番号】特開2009-200662(P2009-200662A)
【公開日】平成21年9月3日(2009.9.3)
【年通号数】公開・登録公報2009-035
【出願番号】特願2008-38174(P2008-38174)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｌ　7/095　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｌ　7/08　B

【手続補正書】
【提出日】平成22年12月10日(2010.12.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
基準信号と第１のフィードバック信号との間の位相差を検出して制御信号を出力する位相比較器と、
前記制御信号に応じて、前記基準信号と前記第１のフィードバック信号との間の位相差に応じたパルス幅を有する誤差信号を出力するチャージポンプと、
前記誤差信号のパルス幅に応じた電圧レベルを有するコントロール信号を出力するループフィルタと、
前記コントロール信号の電圧レベルに応じた発振周波数の出力信号を出力する電圧制御発振器と、
この電圧制御発振器の出力信号に基づいて動作する第２のフィードバック信号を出力するロジック回路と、
デッドロック状態に陥ったことを検出して検出信号を出力するデッドロック検出回路と、
前記検出信号に応じて、前記コントロール信号の電圧レベルが低下するように前記制御信号を制御する制御信号制御回路と、
前記第２のフィードバック信号が所定の閾値周波数未満の周波数にある状態から該閾値周波数を越えたことを検出して前記デッドロック検出回路を作用させる起動検出回路とを備えたことを特徴とするＰＬＬ回路。
【請求項２】
前記起動検出回路は、前記基準信号から生成した、前記閾値周波数に対応する所定の期間内における前記第２のフィードバック信号の有無を検出し、検出結果に応じて前記デッドロック検出回路を制御することを特徴とする請求項１記載のＰＬＬ回路。
【請求項３】
前記起動検出回路は、前記検出結果に応じて、前記デッドロック検出回路に制御用の信号を出力するとともに、前記基準信号および前記ロジック回路から出力された前記第２のフィードバック信号のいずれか一方を選択し前記位相比較器および前記デッドロック検出回路に対する前記第１のフィードバック信号として出力する選択回路を備えたことを特徴とする請求項２記載のＰＬＬ回路。